

基安安発0615第2号
平成29年6月15日

一般社団法人日本農業機械化協会長 殿



厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長

三脚脚立に係る安全対策のお願いについて

標記について、平成28年9月に岐阜労働局管内にて、造園業に従事する労働者が三脚脚立を使用中、バランスを崩して転落し、死亡に至る労働災害が発生しました。

所轄労働基準監督署において調査した結果、当該三脚脚立には労働安全衛生規則第528条第3号で規定している「脚と水平面との角度を確実に保つための金具等」（以下「規則適合金具」という。）が備えられておらず、代わりの金具等として鎖チェーンが備わっていたものの、脚が不意に閉じるのを防止できない機構となっていたことが判明しました。

厚生労働省においては、（一社）軽金属製品協会の協力を得て確認したところ、現在流通している三脚脚立のほぼ全てが鎖チェーン式のものであることが分かりました。このため、厚生労働省は同協会に対し、別添のとおり、脚の角度を一定に固定できる後付け金具の製造について要請したところ、同協会からは、平成30年1月以降、当該後付け金具を販売開始するとの連絡を受けています。

つきましては、当該製品の販売後には、同種災害防止の観点から、当該安全対策を講じた三脚脚立を使用するとともに、脚の角度を確実に固定して使用するようお願いいたします。

また、軽金属製品協会の所属メーカー以外の製品を使用している場合は、そのメーカーに照会する等の対応をとるようお願いいたします（※軽金属製品協会の所属メーカーについては同協会のホームページを参照[<http://www.apajapan.org/>]）。

【参考】労働安全衛生規則第528条

事業者は、脚立については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

- 1 (略)
- 2 (略)

3 脚と水平面との角度を75度以下とし、かつ、折りたたみ式のものに
あつては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えること。

4 (略)

基安安発 0323 第 1 号
平成 29 年 3 月 23 日

一般社団法人軽金属製品協会 会長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長

三脚脚立に係る安全対策のお願いについて (要請)

標記について、平成 28 年 9 月に岐阜労働局管内にて、造園業に従事する労働者が三脚脚立を使用中、バランスを崩して転落し、死亡に至る労働災害が発生しました (別紙参照)。

所轄労働基準監督署において調査した結果、当該三脚脚立には労働安全衛生規則第 528 条第 3 号で規定している「脚と水平面との角度を確実に保つための金具等」が備えられておらず、代替りの金具等として鎖チェーンが備わっていたものの、脚が不意に閉じるのを防止できない機構となっていたことが判明しました。

つきましては、同種災害防止の観点から、貴協会傘下の会員に対して、脚の角度を一定に固定できる後付け金具を追加で速やかに製造していただく等、改善に向けた対策をとるよう要請していただきたくお願い申し上げます。

【参考】労働安全衛生規則第 528 条

事業者は、脚立については、次に定めるところに適合したものでなければ使用してはならない。

- 1 (略)
- 2 (略)
- 3 脚と水平面との角度を 75 度以下とし、かつ、折りたたみ式のものにあっては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えること。
- 4 (略)

災害発生状況

- 1 業 種 造園業
- 2 災害発生地 岐阜市内の小学校に面した道路
- 3 災害発生日 平成 28 年 9 月 21 日 (水)
- 4 被災者 60 代の男性現場作業員、経験 10～20 年
- 5 傷病名 脳挫傷
- 6 状 況 被災者らは、小学校の敷地境界にある樹木の枝打ち作業を行っていた。被災者が道路側に出て校門付近のフェンス外側の枝打ちを、他の労働者が高所作業車を使用して校庭側の枝打ちをそれぞれ行っていた。
被災者が、校門から敷地外に出ていた高さ約 3.4m の枝を、フェンス外側の道路上に置かれたアルミ製の三脚脚立に登ってのこぎりで切っていたところ、バランスを崩し、道路上に仰向けに転落したもの。